

平成26年度 学校評価実施報告書(定時制)

| 学校目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 | 学校評価 |
|---|---|--|--|---|---|---|
| | 具体的な手立て | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | |
| <p><教育課程> (1)個に応じた学習指導の推進 (2)技能審査等を活用した三修制の推進 (3)人権教育の推進</p> | <p>(1)①生徒の特性、能力、取組みに応じて個別指導を行い、基礎学力の定着を図る。 ②日本語を母語としない生徒に対する個別授業を実施し、日本語の理解を深めさせる。 (2)技能審査等による単位認定制度を生徒に周知するとともに、技能審査等の情報を提供する。 (3)「いのちの授業」の一環として、「防災教育」(2月)と「いじめ防止教育」(3月)を実施し、他者への思いやりや自分を大切にすることを育む。また、入学年次に映画「めぐみ」のDVDを活用した人権教育を行う。</p> | <p>(1)①生徒の特性に応じた個別指導ができたか。 ②日本語を母語としない生徒に対して、きめ細かな学習指導をすることができたか。 (2)技能審査等を活用し、単位修得した生徒の数が増加したか。 (3)生徒の防災意識、人権意識が高まったか。</p> | <p>(1)日本語を母語としない生徒に対して、習熟度を考慮した柔軟な対応を行い、一定の成果をあげることができた。 (2)技能審査を活用し、漢字検定と情報処理技術者試験で単位を取得することができた。また、校外講座、ボランティア活動においても単位を取得することができた。 (3)「いのちの授業」の一環として、「防災教育」(2月)と「いじめ防止教育」(3月)を実施し、他者への思いやりや自分を大切にすることを育むことができた。 また、「携帯電話教室」(2月)を実施し、情報モラル等を育成する指導ができた。 さらに、入学年次に映画「めぐみ」(アニメ)のDVDを活用した人権教育を行った。</p> | <p>(1)日本語の習熟度の差や母語の違いから、多様な生徒への指導方法に課題がある。できるだけ、きめ細かな対応で改善したい。 (2)学校外における学修の単位認定に関する規程を整理及び周知し、学校外の教育力を活用しながら、単位認定を促進する。 (3)他の学校行事に比べると、生徒の参加率が低いという課題がある。少しでも参加率が高まる企画の工夫と日常的な指導が必要である。</p> | <p>(保護者) ・個別の丁寧な対応に感謝している。今後ともきめ細かい指導をお願いします。 (学校評議員) ・ボランティア活動での単位認定は、生徒の成長に繋がると思うので、推進していただきたい。</p> | <p>(学校評価) ・チームティーチングや少人数学習の取り組みの中で、個別の柔軟な指導が浸透してきた。 ・学校外における学習の促進ができ、生徒の視野を広げる活動につながった。 (改善方策等) ・個に応じた学習指導を組織的な授業改善の中に位置づけ、学校全体として継続的に取り組む。 ・いのちの授業に関しては、日常的な指導の中でその重要性を生徒に浸透させるよう努める。</p> |
| <p>生徒指導・支援 (1)個々の生徒の状況の把握と情報共有によるきめ細かな指導の推進 (2)問題行動の未然防止に向けた指導体制の整備</p> | <p>(1)①個々の生徒の家庭環境や心身の状況等を把握し、教職員同士の情報共有と共通理解を図る生徒支援の体制をつくる。 ②定期的にケース会議等を開催するなどの教育相談体制を整備し、スクールカウンセラーや外部関係機関、専門機関との連携を図る。 ③発達障害の理解と支援のあり方と「いじめ」に係る職員研修会等を実施する。 (2)①計画的・組織的な学校内外の巡回指導計画の策定と問題行動等の未然防止に努める。 ②ルールを守り互いを認め合うことで、集団への帰属意識を高める生徒指導・生徒支援を行い、自己肯定感や自律心を醸成する。</p> | <p>(1)①生徒情報の共有と共通理解を図る体制づくりができたか。 ②スクールカウンセラーからの情報提供及び定期的なケース会議の実施と必要に応じて外部機関や専門機関との連携が図ることができたか。 ③発達障害やいじめに対する職員の理解が深まったか。 (2)①問題行動等の未然防止に向けた、計画的・組織的な校内外の巡回指導をすることができたか。 ②自己肯定感や自律の育成をめざした生徒指導・生徒支援をすることができたか。</p> | <p>(1)①多様な生徒を多く抱える定時制では、個々の生徒の家庭環境や心身の状況等を把握し、様々な機会を通して、教職員同士の情報共有と共通理解を図ることができた。 ②養護教諭と教育相談コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーと連絡等を密に図り、必要な生徒にはケース会議を実施した。 ③発達障害に関する職員研修会や生徒指導担当者会議での研修の成果をグループ員で情報共有する機会を設けた。 (2)①計画的・組織的に校内外の巡回指導を実施した。 ②ルールやマナーを守り、自己肯定感や自律の育成に向けた生徒指導・生徒支援をすることができた。</p> | <p>(1)①個々の生徒の家庭環境や心身の状況等を学校として詳細に把握できない現状がある。そのためにも、家庭との連絡や保護者等の面談を通して、現状把握に努める必要がある。 ②年々、スクールカウンセラーに相談する生徒が増えている現状がある。スクールカウンセラーの時間的な確保が必要である。 ③職員会議終了後、全教職員が一同に集まる機会を通して、研修の成果や報告を共有する必要がある。 (2)①部外者対策や生徒の安全確保の観点からも今後も計画的・組織的な校内外の巡回を継続していく必要がある。 (3)今後もルールやマナーを守らせ、自己肯定感の育成に向けた未然防止と毅然とした生徒指導・生徒支援を継続して取り組む必要がある。</p> | <p>(保護者) ・子供がカウンセリングのお世話になっている。その成果なのか、学校に通えるようになっていたので、できれば同じカウンセラーをお願いしたい。 (学校評議員) ・凶悪事件の報道がされているが、生徒の動向の把握について粘り強い対応をお願いしたい。 ・入学式や卒業式の生徒の態度がとても良い。特に卒業生が立派だった。 (その他)</p> | <p>(学校評価) ・ケース会議を有効に活用することができ、課題解決につながった。 ・巡回指導などの日常的な取り組みにより、生徒指導案件が減少し、生徒のモラルアップにも効果があった。 (改善方策等) ・生徒支援に関する会議をきめ細かく行う。具体的には教育相談コーディネーターが窓口となり、気にかかる生徒の情報を整理し、情報共有をしていく。</p> |
| <p><学習指導・授業改善> (1)生徒の興味・関心を高める組織的な授業改善の推進 (2)個に応じた学習支援の推進</p> | <p>(1)生徒による授業評価や、観点別評価の「興味・関心」の項目の評価を分析し、生徒の興味・関心の高い授業をモデルとして、他の授業に活かしていく。 (2)学習面での到達度の違いを把握した上で教材等を工夫した授業実践と、夏季補習による個別の学習支援を実施する。</p> | <p>(1)2回目の生徒による授業評価で、学習への取り組みや授業への充実度を向上させることができたか。 (2)個に応じた教材を作成するとともに、夏季補習を実施することができたか。</p> | <p>(1)授業評価の結果を踏まえ、組織的な授業改善のテーマを設定し、「生徒が主体的に取り組む授業」の展開を進めた。その一環として公開研究授業を実施した。 (2)夏季講習を実施し、1年生を中心に参加した生徒に対し、個に応じた指導を行うことができた。</p> | <p>(1)研究授業における成果を次年度のさらなる展開につなげるよう計画立案する。 (2)夏季講習参加生徒の出席率を高める工夫が課題である。</p> | <p>(保護者) ・先生によって授業内容や生徒対応にばらつきがあるように聞いている。学校として統一的な指導をお願いしたい。 (学校評議員) ・研究授業の公開は良い取り組みだと思うので、ぜひ継続していただきたい。</p> | <p>(学校評価) ・学校全体として授業改善の目標を立て、各教科で具体的な取り組みを行った。 (改善方策等) ・授業公開に加え、中学校の教員向け説明相談会も行うことで、課題解決に向けての情報共有を図る。</p> |
| <p><キャリア教育> (1)外部機関との連携によるキャリア教育の推進 (2)社会人として必要な道徳心の育成</p> | <p>(1)外部講師による「産業社会と人間」の授業等により、キャリアについての意識を高める。 (2)マナーアップ運動や生徒のボランティアによる地域貢献活動を通じて、道徳心の育成を図る。</p> | <p>(1)就職や進学に対する意識が向上し、積極的に選択した進路に向かうことができたか。 (2)マナーアップ運動や地域貢献活動への参加者が増え、成果をあげることができたか。</p> | <p>(1)外部機関との連携によるキャリア教育を「産業社会と人間」の授業を中心に実施できた。 (2)生徒会が行うマナーアップ運動について、生徒がより主体的にかかわるようになり、定着させることができた。</p> | <p>(1)外部機関との連携について、より多くの機会を提供し、職員のスキル向上につなげていきたい。 今年度、構築した西部総合職業技術校との連携をさらに発展させ。 (2)生徒会のリーダーシップにより、全校生徒のマナー意識を向上させていきたい。</p> | <p>(保護者) (学校評議員) ・外部講師を積極的に取り入れている姿勢は評価できる。 ・これまでもご苦労されていると思うが、進路未定者を減らす努力をお願いしたい。 (その他)</p> | <p>(学校評価) ・外部講師の活用を拡大したことで、生徒の積極的な参加につながった。 (改善方策等) ・卒業時の進路未定者については入学時からの継続的なキャリア教育の中で就業に関する意識を醸成していく。</p> |
| <p><地域等連携> (1)キャリア教育と関連づけた地域貢献活動の推進 (2)特別活動の活性化による地域等との連携の推進</p> | <p>(1)社会人としての存在意識を高めるために、就労体験やボランティア活動、地域清掃等の地域貢献活動を活性化させる。 (2)①体育祭や文化祭などの生徒会行事の活性化とマナーアップ運動を継続実施により、地域との連携を図る。 ②北相地区定通球技大会や部活動による県高等学校定通大会等の公式戦への参加及び定通芸術作品展への積極的な参加体制づくりにつとめる</p> | <p>(1)就労体験やボランティア活動、地域清掃等の地域貢献活動を活性化することができたか。 (2)①生徒会行事の活性化とマナーアップ運動の継続実施により、地域との連携を図ることができたか ②部活動の公式戦への参加や定通芸術作品展への積極的に参加体制づくりができたか。</p> | <p>(1)生徒会を中心としたボランティア活動(通学路清掃)を9月に実施した。また、12月には校内の「赤レンガ広場」の清掃活動を実施し、有志生徒を含めて約30名が参加し、活動ができた。 (2)①生徒会行事(体育祭・文化祭)は、生徒の参加率も良く、年々盛り上がりつつある。事前の準備や当日の企画も生徒が主体となって取り組むことができた。 ②定通芸術作品展には、数多くの作品が展覧され、6名の生徒が入賞した(金賞2名、銀賞2名、銅賞2名)。</p> | <p>(1)今年度の地域清掃等の地域貢献活動は、雨天のため実施できなかったが、継続的に実施していきたい。 (2)①地域住民や他校(近隣の小・中学校)との連携も考えているが、夜間定時制という時間的な制約の中で難しい。今後の課題でもある。 ②部活動の活性化と定通球技大会への参加促進を高める工夫と公式戦への参加意識を各部の中で、高める工夫をしていきたい。</p> | <p>(保護者) ・ボランティアは友達と楽しく参加したようだ。 ・子供が作品展で賞状を貰いとても喜んでいた。 (学校評議員) ・この1、2年は自治会で定時制生徒の悪い話を聞かなくなった。生徒の表情も明るいように感じる。 (その他)</p> | <p>(学校評価) ・ボランティア活動の単位認定について制度の周知が不足していた。 ・作品展の参加などについて、各教科の協力により多くの作品を出品することができた。 (改善方策等) ・ボランティア活動の単位認定について、全生徒に周知し、ボランティア活動活性化の一助とする。</p> |
| <p><学校運営・学校管理> (1)防災教育の推進 (2)職員の学びあいによる人材育成の推進</p> | <p>(1)定時制の状況や地理的状況を考慮した学習会など、実際に即した防災教育を進め災害に対する意識を高めていく。 (2)教科をこえて他の職員の授業を見学するなど他の授業の良いところを取り入れる研究授業や研修会を実施する。</p> | <p>(1)生徒の災害に対する意識を高めることができたか。 (2)ベテラン職員の授業のノウハウを若い職員に伝えることができたか。</p> | <p>(1)年2回の避難訓練(6月と9月)を実施した。また、「いのちの授業」の一環として防災教育を実施し、生徒の防災意識を高めることができた。 (2)公開研究授業を通して、共通のテーマを持った授業見学の機会を確保した。</p> | <p>(1)避難訓練だけでなく、今後も様々な教育活動を通して、防災教育や災害に対する意識を高める必要がある。 (2)引き続き、公開研究授業を核とした組織的な授業改善の取り組みを行う。</p> | <p>(保護者) ・夜間に学校に行っているため、不安も多い。連絡態勢などについて、日ごろからの指導をお願いしたい。 (学校評議員) ・生徒の非常食の備蓄が少ないようなので、至急改善を望む。 (その他)</p> | <p>(学校評価) ・授業改善については、問題点を共有し実地的な改善につながった。 (改善方策等) ・私費の執行状況を精査し、防災備蓄食料の確保に努める。</p> |